

絵

うすざいしき【薄彩色】

薄く施した彩色。墨絵の上に藍、代赭などで薄く着色したもの。

絵

うらざいしき【裏彩色】

東洋絵画の彩色法で、表面の線画を生かしあるいは彩色の効果を増すために絵絹の裏側から顔料を塗ること。裏具。

絵

うるみいろ【潤み色】

濁ってはっきりしない色。青黒い色。また。黒と赤との間の色。

モ

おいろ【御色】

(女房詞) 紅。口紅。

着

なんどいろ【納戸色】

染色の色。ねずみ色がかった藍(アイ)色。

状

モ

かたみのいろ【形見の色】

①喪服の色。にび色。②思い出の色

状

モ

からざけいろ【乾鮭色】

古びくすんで乾鮭ようになった色。

自

げっしょく【月色】

月の色。月の光。

状

着

こういろ【香色】

香ぞめの色。黄ばんだ薄い赤色。

絵

ごくさいしき【極彩色】

①日本画の技法で、岩絵具・胡粉などを用い、きわめて濃厚・緻密に彩色するもの。  
②きわめて濃厚な色彩。転じて、派手でけばけばしい色どり。厚化粧にもいう。

状  
花 自

しぐれのいろ【時雨の色】

時雨のために色づいた草木の葉色。

状

モ

じだいしょく【時代色】

①その時代特有の傾向・特徴  
②多くの年月を経てついた古色。

状

すきいろ【透色】

物を透かして見た時に現れる色合い。

着

とうじき【当色】

位階に相当する服色。

モ

とりのこいろ【鳥の子色】

鶏卵の殻のような色。淡黄色。

自

なつむしのいろ【夏虫の色】

蝉(一説には青蛾)の羽の色で、二藍の色のたとえ。薄緑色または瑠璃色かという。

着  
花

なでしこのわかばいろ【撫子の若葉色】

襲の色目。面は蘇芳、裏は青。

状

モ

なまかべいろ【生壁色】

染色の一つ。濃い藍鼠色。

状

なみだのいろ【涙の色】

血のような涙の色。

状

にくいろ【肉色】

①肉の色。②淡黄紅色。ときいろ。

状

ねぼけいろ【寝ぼけ色】

ぼんやりした色合。

状

着

のぞきいろ【覗き色】

(染色用語) 極めて淡い青色。染料の甕をちよつとのぞく程度に、浅く染めた意。甕覗。

人

りきゅういろ【利休色】

緑色を帯びた灰色。

七つの分類

- 着・・・着物や染め
- 花・・・花や草木
- 絵・・・絵画、工芸
- モ・・・固有の物
- 状・・・現象や状態
- 自・・・自然の天候
- 人・・・特定の人由来